

第90回: 太子党のルーツはロング・マーチにあり

当時の胡耀邦党主席を巡る話題だったので、30年近く前のこと。北京を訪問された中国史の専門家を囲む宴会があった。食事をご馳走になって悪いと思われたのだろう、教授より駐在員たちに中国政治に関する儀礼的な質問が出た。釈迦に説法する勇気がなく、われわれが顔を見合わせていると、こましゃくれた某駐在員がしゃしゃり出て「注目筋は中国共産党青年団グループの胡耀邦・胡啓立・王兆国のラインです。特に共青团第一書記の王兆国は鄧小平の評価も高く」と弁じ始めた。教授は黙って聞いていたが、彼が話し終わると「政治を語る際には基礎知識が大切です。共青团は『共産主義青年団』であって『共産党青年団』ではありません」と指摘され、若造の珍説を苦々しく聞いていた駐在員一同留飲を下げたことがある。

そのとき、教授が学ぶべき基礎知識としてアドバイスしてくれたのが、中国の権力闘争史、共青团、そして長征であった。中国は露骨な表現を嫌う。政敵を追い落とすときも搦め手からの攻めを得意とし、文学論争を装った政治闘争を仕掛けたと思えば、敵を一旦昇格させた上で罠に嵌めるような高等テクニクを弄する。毛沢東の「延安文芸講話」や、文革の狼煙となった「新編歴史劇『海瑞免官』を評す」は、文芸論争を装った奪権闘争であった。教授が権力闘争の歴史を学べとアドバイスした所以である。

共青团の研究も大事である。日本のプロ野球でもそうだが、引退した野球選手のなかには球界指導者を目指す者が多い。といっても、いきなり一軍の監督やヘッドコーチに就ける訳にはいかないの、先ずは二軍コーチに就任させ、そこで帝王学を学ばせる。中国共産党も同じ発想である。将来有望なエリートを二軍格の共青团に送り込み修業させるのである。そこで起案書の書き方やオルグのルール、理論闘争の進め方と落とし所の探り方、告発と自己批判等の党内実務を徹底的に鍛えこむ。中国研究者も、こんな流儀や文章表現を知っておかないと、比喩や暗喩に包まれた難解な文献の政治的意図は読めないのである。

そして長征(Long March)の研究。共産党における最大派閥は共青团であるが、共青团に唯一対抗できる勢力が太子党である。そのルーツは長征に遡る。長征とは蒋介石率いる国民党に追い詰められた共産党による逃避行である。1934年から36年にかけて行われ、共産党史には「党中央と中国紅軍8万人による戦略的移動である」と荘重な記載があるが、国民党側はこれを「大流竄」と呼んでいた。大八車にナベ、カマ、包丁からガリ版まで積み込み豚羊も連れ、進軍というよりは夜逃げか引越しと呼ぶ方が相応しい鹿島立ち、もとい瑞金立ちであった。逃亡先は国民党が追撃を尻込みするほど貧しい地区の峻険なルートが選ばれた。それから2年、ようやく黄土高原の延安に辿り着いたとき、8万人の長征部隊は僅か2万人に減っていた。

延安は国民党も怖気付く辺境にある。そんな田舎の延安という場所をどこかで聞いたことがないだろうか。日本人が愛読する四大奇書・水滸伝。百八星の英雄豪傑のなかで最初に登場する人物は九紋竜の史進であり、彼の師匠となるのが八十万禁軍教頭の王進である。彼は悪大臣の高俅に憎まれ、母親を連れて都を逃れ史家村に辿り着く。そして一宿一飯の恩義に報いるため村に留まり史進に武芸十八般を授け、彼の腕が熟達したのを見届け、辺境の「延安府」を目指して落ち延びて行く。延安は明代に異民族を防ぐため砂漠につくられた砦の街である。こんな奥地であれば追手も来るまいと王進が考えたように、毛沢東も延安まで

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

逃げれば国民党を振り切れると読んだのである。読みはずばりの中した。ここでクイズをひとつ。

Q 「長征に参加しなかったにも拘わらず出世した最高位の政治家を述べよ。但し非共産党員は除く」

A 「残留部隊でゲリラ活動を指揮した陳毅と、天津の刑務所にぶち込まれていた彭真」

こんなマニアックな問題を解ける日本人は学者か変人である。陳毅・彭真は有名政治家だが、日本で知る人は少ない。日本でもっと有名な政治家といえば毛沢東、劉少奇、周恩来、朱徳、鄧小平、陳雲である。実は彼ら全員「長征幹部」である。彭徳懐、林彪、賀龍も然り。毛朱周の三傑は夫婦で長征に参加した。

珍しいことだが、来年の党大会で政治局常務委員会入りが有力な太子党4人の親は何と長征幹部ではないのである。習近平の父はそのころ山西・陝西でゲリラ活動を展開しており、寧ろ現地で部隊を迎える立場にあった。王岐山の岳父は清華大学在学中、薄熙來の父は監獄の中で共に不参加。俞正声の父は、女優・藍蘋(後に毛沢東と結婚する江青)と同棲中のためか、獄中にいた関係がよく分からないが不参加。彼らにとって画竜点睛を欠くのは長征幹部の出自でないことだ。政治局委員で長征幹部は劉延東の父のみ。

太子党の大物といえば、2007年の16回党大会で引退した江沢民の側近で、胡錦濤最大のライバルであった曾慶紅(前・政治局常務委員、国家副主席)である。彼は自分の引退と見返りに習近平の常務委員会入りを要求したという。曾慶紅の父母の曾山(元・内務部長)、鄧六金ともに長征幹部である。曾山は、建国後に何度も重要閣僚を務めた大物だが、8年前92歳で逝去した母親・鄧六金の影も大きい。彼女は男でも落伍者が続出した苛酷な長征を踏破した30名の「女紅軍」の一人であり、後に華東保育院を創設したように、革命期に孤児や幹部子弟を養護する保育園長のような存在であった。「鄧おばあさん」が夜道を駆けて米軍から掻き集めたペニシリンやストマイによって命を救われた幼児も多く、「鄧おばあさん」に可愛がられ頭が上がらない政治家は数多い。これが曾慶紅の保有する莫大な政治資本であり、太子党の中心人物である彼が習近平支持を表明すれば、誰も面と向かっては反論できない力の源泉なのである。

因みに、劉延東のように太子党でありながら共青团ルートで昇進を遂げてきた人物はいないこともないが少ない。なぜかといえば太子党は超エリートであり、共青团を利用する必要がないからである。1979年に清華大学を卒業した習近平の勤め先は中央軍事委員会、職位は耿飈(こうひょう)国防部長の秘書であった。1982年社会科学院の修士課程を修了した薄熙來は党中央書記処の研究室から社会人のスタートを切る。これだけ恵まれた人生のスタートが切れれば、何も志願して共青团に転勤する必要はないだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年8月19日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。